

国立国際医療研究センター(NCGM) 企画戦略局長。NCGMにて小児科臨床研修後、JICAのフィリピン母子保健・家族計画プロジェクト専門家として途上国の現場経験を経て、厚労省にて肝炎対策推進室長、新型インフルエンザ対策推進室長、国際協力室長や結核感染症課長など主に国際保健・感染症分野の職務を担当する。2015年よりWHO事務局長補としてG7、G20、国連総会の首脳級会合に保健議題を上程する役割を担うとともに、AMR事務局長特別代表としてAMRをグローバルヘルスの中心課題の一つとして提示した。昨年秋から現職。東京大学保健学修士、ハーバード大学公衆衛生学修士、帝京大学公衆衛生学博士。